

東芝健康保険組合 パシフィコ横浜 健診イベント（2019.7.17）

7月17日、パシフィコ横浜で東芝健康保険組合の巡回型健診イベントが行われ、さくら薬局を展開するクラフト株式会社との協業にて出展いたしました。

東芝健康保険組合では、このような大型の会場で行う健診イベントは今回が初めてのことですが、事前に200名を超える方からの申込みがあったとのこと。通常の巡回健診は1回あたり、60～70人の参加が普通ですので、今回の健診イベントは約3倍の規模となりました。

特例退職加入者の受診率UPのための秘策

今回のイベントの企画・運営を行った東芝健康保険組合さまの話によると、「今回は、特にご夫婦での参加者を増やすため、夫婦割を導入。もともと健診料は割安に設定していますが、ご夫婦だと更に割安にしました。」とのこと。特例退職加入者の本人と被扶養者といえば、特定健診受診率のネックとなっているセグメントです。そこに斯かる効率的なアプローチを行い、23組のご夫婦が参加されました。また、一般被扶養者である、小さなお子さんをお持ちのお母さん方にも安心して参加いただくため、託児所を完備し、計17名を超えるお子さんの利用があったとのこと。

薬局のブースは大盛況

今回のイベントにおいて、クラフト株式会社は骨密度測定、血管年齢測定、お薬相談のブースを出展しました。各ブースは大盛況となり、健診前の待ち時間だけではなく、健診後も残って、並んで測定する方もたくさんいらっしゃいました。



健診の順番待ちをするエリア。前方、特に人が多く座っているところは骨密度・血管年齢測定順番待ちです。

最終的には、骨密度測定に115名、血管年齢測定に121名、お薬相談に4名の方が参加されました。

クラフト株式会社（さくら薬局）の山崎徹さまは、「今回、骨密度測定では規定値以下の方に将来の骨折のリスクについて説明した上で、医療機関への受診を勧め、低めの方には、運動と食事など日ごろの生活で気をつけることアドバイスしました。また、血管年齢については、直接病気には繋がらないのですが、糖尿病やコレステロールとの関係も深く、年齢より高めに出た方には食生活、運動への意識付け・動機付けを行いました。」と話されておりました。



測定結果はその場で薬剤師が説明・アドバイスを行います。



お薬相談にはジェネリックに関する相談も寄せられました。

今回の協業では、健康保険組合、薬局双方にとってメリットのある協業が実現出来たと思います。参加者はリクリエーション感覚で検査を行い、すぐその場で結果とそれに対するアドバイスを受けることが出来ました。また、健康保険組合にとっては加入者の健康意識の向上に役立ち、薬局にとっては、「処方せんを持っていくところ」から「薬局がめざす地域に根ざした気軽に健康相談できるところ」ということをアピール出来たと思います。

株式会社エム・エイチ・アイではレセネット加入の健康保険組合と薬局の協業のお手伝いをさせていただいています。ご希望がありましたら、各営業担当者もしくは下記にお問合せください。

レセネット営業部 矢内・川里 (03-3371-1481)